

コンピュータ科学特論 レポート 課題

学籍番号:22316045 氏名:城澤 大輝

2017 年 2 月 13 日

(1) もしも、あなたに数年間付き合い続けた恋人がいるとする。ある時、あなたは恋人の当部に何か違和感のあるものを見つけた。それはシリアルナンバーのついたプレートであり、恋人はロボットであることがわかった。 恋人は、全てが人間と同等に作られており、表面上の違いはそのプレート 以外は見当たらないとして、あなたはその後の恋人との関係をどう考えますか。

私は何事もなく付き合うことを選択します。ロボットでなくても狸や狐が化けて、人と付き合うことがあるかもしれません。平成狸合戦ぽんぽこではありませんが、あの作品中では狸が人間に化けていますが、人間は何も気づかずに生活していると思います。それと同じように、もしかしたら私達の生活の中にも狸やロボット、はたまたそれ以外の生物が人間の形をして紛れ込んでいるかもしれません。しかしもし 恋人がそれだとわかったからと言って今後の関係に支障はないと考えます。

ロボット側が人間の情報を得たり欺くために人間になりすますということも考えられますが、それを見抜けなかった人間側にも責任があると思います。人間と人間同士が愛しあったり、好きになることは当たり前だと思いますが、相手が人間ではないとわかった時にそれを否定するのは

(2) 近年、自動車や飛行機の自動走行の技術は着実に進歩している。近い将来、あなたは自動で走行するロボットカーを手に入れるかもしれない。あなたはいつも通りロボットカーで会社に通勤している途中である。目の前の信号が赤に変わることを予見してあなたのロボットカーは速度を落とし始めた。そこへ、隣のレーンから別のロボットカーが近づいてきた。あなたのロボットカーは、隣のレーンから来るロボットカーを避けるようにハンドルを切った。あなたのロボットカーは歩道に乗り上げ、歩行者を轢いてしまった。この事件における被害者は明確であるが、加害者は誰だろうか。ロボットカーを作ったメーカーか、隣のレーンから来たロボットカーの所有者か、はたまた自分自身か。あなたはロボットメーカーやロボットの所有者の責任についてどのように考えますか。

(3) 現在、インターネットや自動化技術の発展によって人が行う仕事は確実に減っている。例えば、20 世紀初頭の工場は単純作業で溢れていたが、その多くは産業用ロボットに置き換わった。Amazon や楽天といったインターネット商店の出現によって、小売店の売上は減少しており、従来は小売店で人が行っていた仕事がインターネット上のプログラムに置き換わりつつある。ロボットやプログラムの所有者は自動化によって多くの富を得た。一方で、単純作業者は職を失い、新しい職につくことが難しくなった。自動化による貧富の格差は今後さらに拡大する見込みである。更に自動化が進む未来において人や社会はどうあるべきかについて、政治や社会としての対応の観点から個人としての生き方の観点から、自分の考えを述べよ。